

# 広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 令和5年11月 ～

この「財政状況の公表」は、後期高齢者医療制度の運営にお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を皆さんに知っていただくため、毎年5月に下半期分（前年度10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算を、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、令和5年度上半期（令和5年4月1日から9月30日まで）の予算執行や財産の状況と令和4年度の決算状況について公表します。

また、主要な予算科目の内容について簡単に説明しています。



# 令和5年度上半期の財政状況

## ～予算執行の状況と財産等の概要～

以下で説明する財政状況は、令和5年9月30日現在で記載しています。

## 1 令和5年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

### ●一般会計の予算執行状況（令和5年9月30日現在）

#### （歳入）

（単位：千円）

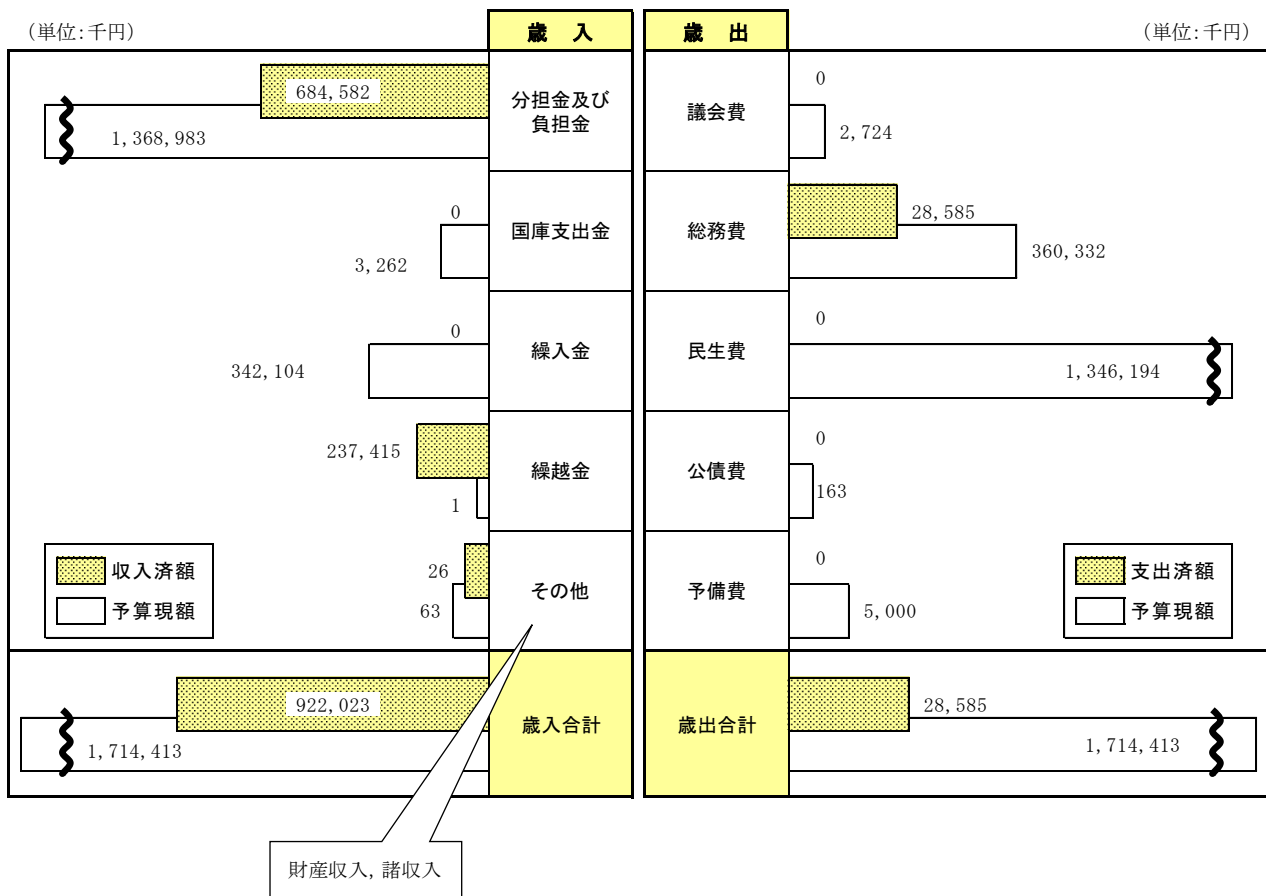
区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	1,368,983	684,582	50.0%
国庫支出金	3,262	0	0.0%
財産収入	15	3	20.0%
繰入金	342,104	0	0.0%
繰越金	1	237,415	23,741,500.0%
諸収入	48	23	47.9%
合 計	1,714,413	922,023	53.8%

#### （歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	2,724	0	0.0%
総務費	360,332	28,585	7.9%
民生費	1,346,194	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	1,714,413	28,585	1.7%

グラフ「令和5年度一般会計予算の執行状況（令和5年9月30日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況（令和5年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	79,538,859	33,270,860	41.8%
市町保険料等負担金※	44,023,665	15,498,056	35.2%
国庫支出金	148,503,102	87,805,781	59.1%
県支出金	37,642,849	23,676,799	62.9%
支払基金交付金	183,548,243	78,092,250	42.5%
特別高額医療費 共同事業交付金	150,227	0	0.0%
財産収入	229	0	0.0%
繰入金	4,229,458	0	0.0%
繰越金	1	2,487,335	248,733,500.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	471,845	205,652	43.6%
合 計	454,084,814	225,538,677	49.7%

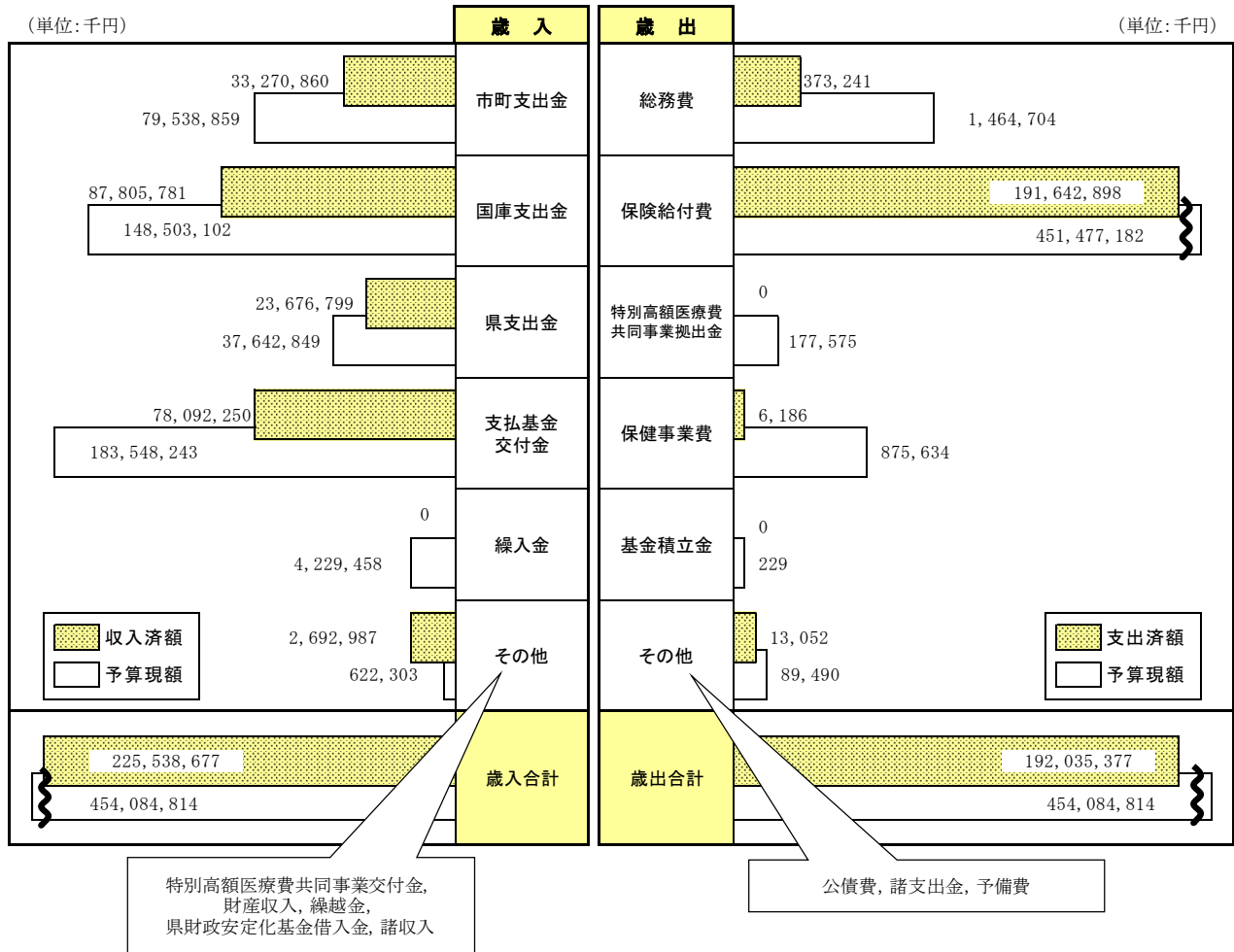
※市町保険料等負担金：市町支出金のうち保険料等についての再掲

（歳出）

（単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	1,464,704	373,241	25.5%
保険給付費	451,477,182	191,642,898	42.4%
特別高額医療費 共同事業拠出金	177,575	0	0.0%
保健事業費	875,634	6,186	0.7%
基金積立金	229	0	0.0%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	61,243	13,052	21.3%
予備費	25,000	0	0.0%
合 計	454,084,814	192,035,377	42.3%

グラフ「令和5年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（令和5年9月30日現在）」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

## 2 広域連合が所有する財産の現在高

令和5年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は次のとおりです。

### 【物 品】

区 分	数 量	摘 要
物 品	1	令和3年度財務会計システム一式

(取得価格1件100万円以上の物品)

### 【基 金】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	724,989,933	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療給付準備基金	11,453,082,171	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

## 3 一時借入金及び地方債の借入状況

### (1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための短期借入金です。

令和5年4月1日から9月30日までの間の借入れはありませんでした。

### (2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するためのものです。

令和5年9月30日現在において、借入れはありません。



#### 4 住民負担の状況

被保険者に納めていただいた保険料は、医療給付等に要する費用に充てられる「保険料等負担金」として各市町から広域連合に納付されています。

その他に各市町からは、広域連合の運営に要する費用に充てられる「事務費負担金」及び医療給付に要する費用に一定の割合で充てられる「療養給付費負担金」が広域連合に納付されています。

令和5年4月1日から9月30日における各市町の納付額は、次のとおりです。

(単位：千円)

区 分	保険料等負担金	事務費負担金	療養給付費負担金	合 計
広島市	6,288,506	244,206	6,236,508	12,769,220
呉市	1,679,652	57,374	1,903,926	3,640,952
竹原市	220,816	9,694	250,476	480,986
三原市	683,834	25,250	743,982	1,453,066
尾道市	1,015,829	36,698	1,102,926	2,155,453
福山市	2,655,009	103,122	2,689,110	5,447,241
府中市	311,734	12,680	295,656	620,070
三次市	373,256	15,888	440,856	830,000
庄原市	290,211	12,934	360,528	663,673
大竹市	217,851	9,582	240,420	467,853
東広島市	1,010,264	40,237	978,750	2,029,251
廿日市市	801,622	28,624	735,450	1,565,696
安芸高田市	224,693	10,302	233,748	468,743
江田島市	216,584	9,346	273,492	499,422
府中町	323,795	13,454	288,126	625,375
海田町	169,319	8,844	147,360	325,523
熊野町	201,123	8,900	189,786	399,809
坂町	83,465	8,772	106,134	198,371
安芸太田町	51,822	5,004	80,508	137,334
北広島町	133,656	7,694	154,056	295,406
大崎上島町	77,722	5,324	93,420	176,466
世羅町	116,138	7,218	134,808	258,164
神石高原町	81,854	5,628	92,778	180,260
合 計	17,228,755	686,775	17,772,804	35,688,334

※令和4年度分の納付額(1,732,892千円)を含んでいます。

## 主要な予算科目の内容

### 1 一般会計

#### ( 歳 入 )

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	広域連合ごとの事情に応じて交付される補助金等
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

#### ( 歳 出 )

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

## 2 後期高齢者医療特別会計

### ( 歳 入 )

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や，被保険者が受けた医療給付の1/12相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の3/12相当の公費負担や，広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
繰入金	一般会計，給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

### ( 歳 出 )

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費，高額療養費，葬祭費等の保険給付のための経費
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し，特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金等
基金積立金	給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため，借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫負担金，県負担金，市町負担金の返還等に要する経費
予備費	不測の支出に備えるための経費

# 令和4年度広域連合の決算の状況

## 1 令和4年度の事業

広域連合では、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

### ●令和4年度一般会計の主な事業

主な経費は、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金（902,476千円）、派遣職員の給料等負担金（266,221千円）となっています。

### ●令和4年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費は、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費（427,000,416千円）、電算処理システムの安定稼働と適正運用のための電算処理システム運用管理事業（384,315千円）、市町が行う健康診査事業、歯科健康診査事業、長寿・健康増進事業や低栄養防止・重症化予防等推進事業に対する補助（261,372千円）、広域連合が行う保健事業・介護予防一体的実施業務委託料（230,788千円）となっています。

## 2 令和4年度一般会計の決算状況

歳入決算額	16億788万8,320円
歳出決算額	13億7,047万3,309円
歳入歳出差引額	2億3,741万5,011円

### (1) 歳入の状況

令和4年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の大部分を占めています。

前年度と比較すると、合計で143,388千円(9.79%)の増となっていますが、これは主に、構成市町からの事務費分担金が144,161千円(11.0%)増額となったことによるものです。

### (歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	1,449,832	1,449,832	100.0%	90.2%	1,305,671	144,161	11.0%
国庫支出金	8,522	4,101	48.1%	0.3%	319	3,782	1,185.6%
財産収入	13	12	92.3%	0.0%	9	3	33.3%
繰入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
繰越金	153,889	153,889	100.0%	9.6%	158,457	△4,568	△2.9%
諸収入	43	54	125.6%	0.0%	44	10	22.7%
合計	1,612,300	1,607,888	99.7%	100.0%	1,464,500	143,388	9.79%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

## (2) 歳出の状況

令和4年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が65.9%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の34.1%となっています。

前年度と比較すると、民生費62,449千円(7.4%)の増額を中心に、合計で59,862千円(4.6%)の増額となりました。

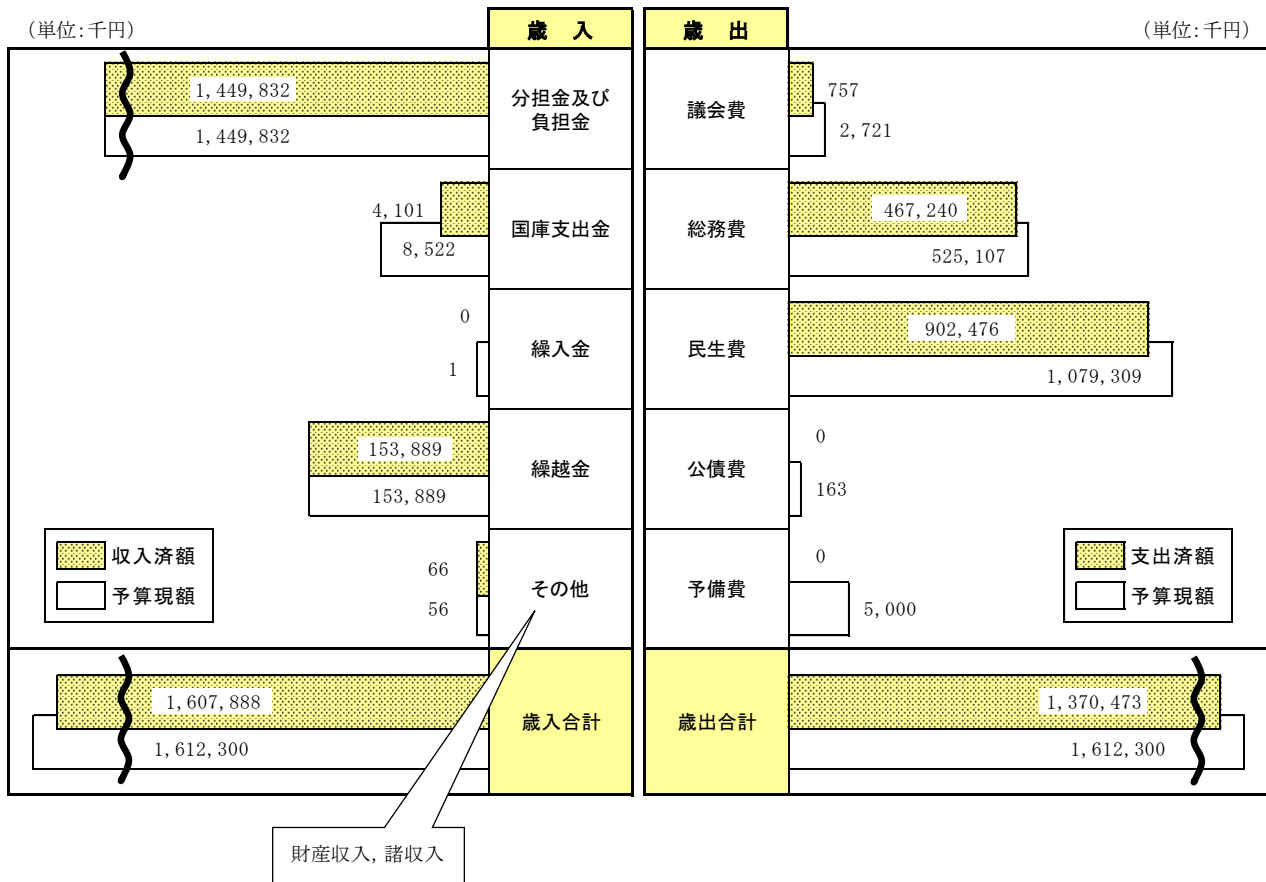
### ( 歳 出 )

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	2,721	757	27.8%	0.1%	704	53	7.5%
総務費	525,107	467,240	89.0%	34.1%	469,880	△2,640	△0.6%
民生費	1,079,309	902,476	83.6%	65.9%	840,027	62,449	7.4%
公債費	163	0	0.0%	0.0%	0	0	—
予備費	5,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合 計	1,612,300	1,370,473	85.0%	100.0%	1,310,611	59,862	4.6%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「令和4年度一般会計歳入歳出決算の状況」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。

### 3 令和4年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額	4,357億7,278万7,381円
歳出決算額	4,332億8,545万2,153円
歳入歳出差引額	24億8,733万5,228円

この差引額は、令和4年度の剰余金として令和5年度に繰り越し、国庫補助金等の返還金の財源に充てます。

#### (1) 歳入の状況

令和4年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の39.5%を占め、次いで国庫支出金が32.6%、市町支出金が17.1%、県支出金が8.4%となっています。

#### (歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	76,511,212	74,392,398	97.2%	17.1%	71,971,513	2,420,885	3.4%
市町保険料等負担金※	42,030,572	41,567,314	98.9%	9.5%	39,982,030	1,585,284	4.0%
国庫支出金	142,309,073	141,846,222	99.7%	32.6%	139,741,782	2,104,440	1.5%
県支出金	36,071,965	36,391,819	100.9%	8.4%	35,845,441	546,378	1.5%
支払基金交付金	173,278,675	172,148,382	99.3%	39.5%	168,787,131	3,361,251	2.0%
特別高額医療費 共同事業交付金	149,990	165,870	110.6%	0.0%	117,850	48,020	40.7%
財産収入	219	218	99.5%	0.0%	213	5	2.3%
繰入金	1,079,309	902,476	83.6%	0.2%	840,027	62,449	7.4%
繰越金	9,409,009	9,409,009	100.0%	2.2%	16,236,586	△6,827,577	△42.1%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸収入	487,346	516,393	106.0%	0.1%	498,482	17,911	3.6%
合計	439,296,799	435,772,787	99.2%	100.0%	434,039,025	1,733,762	0.4%

※市町保険料等負担金:市町支出金のうち保険料等についての再掲

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。



## (2) 歳出の状況

令和4年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の98.5%と歳出総額のほとんどを占め、次いで令和3年度交付分の国庫支出金返還金を中心とした諸支出金が0.9%となっています。

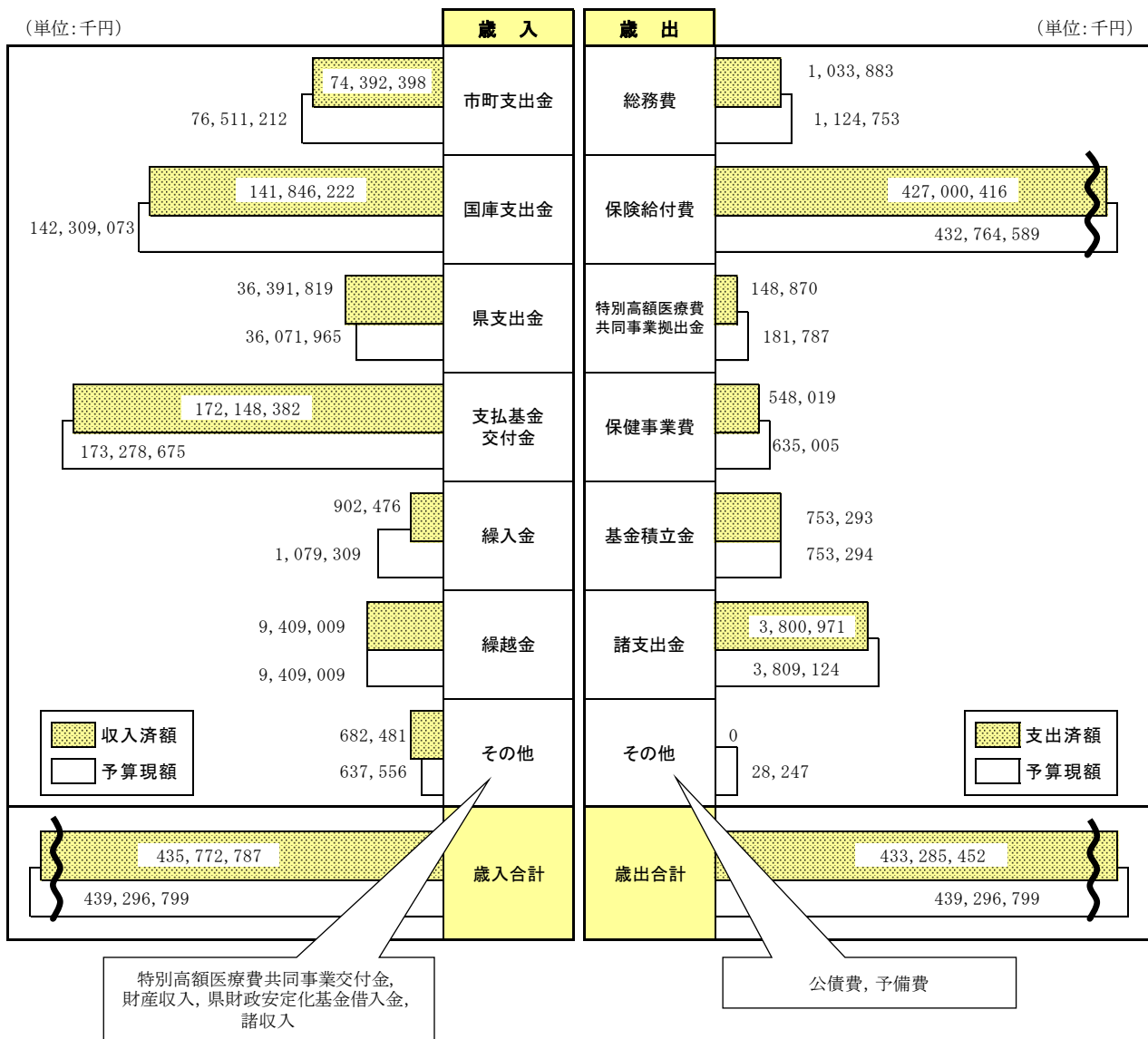
### (歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	1,124,753	1,033,883	91.9%	0.2%	872,949	160,934	18.4%
保険給付費	432,764,589	427,000,416	98.7%	98.5%	411,990,860	15,009,556	3.6%
特別高額医療費 共同事業拠出金	181,787	148,870	81.9%	0.0%	134,076	14,794	11.0%
保健事業費	635,005	548,019	86.3%	0.1%	493,100	54,919	11.1%
基金積立金	753,294	753,293	100.0%	0.2%	213	753,080	353,558.7%
公債費	3,247	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸支出金	3,809,124	3,800,971	99.8%	0.9%	11,138,818	△7,337,847	△65.9%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	439,296,799	433,285,452	98.6%	100.0%	424,630,016	8,655,436	2.0%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注)上のグラフには、視覚的にわかりやすくしているため、数値と棒グラフの長さの比が合致しない箇所があります。